行 事 報 告 書（例会）

報告者：飯盛秀穂

行 事 名	3月度例会：27年度通常総会、まち歩き
実施日時	28年 3月 17日（木曜日） 10：00 ～ 14：30 天候：晴れ
行先・場所	・宝塚福祉コミュニティープラザ ぷらざこむⅠ 21会議室、 ・午後はオプションとして近郊のまち歩きを実施
主旨・行程	午前中にMNC27年度の総会 午後：巡礼街道の一部を歩き、中山荘園古墳～瞑想の家～売布神社～清荒神のコース
参加人員	MNC 56名、 他 名 担当：飯盛秀穂
経過・状況	27年度通常総会 （資料はHPの会員専用ページ、総会資料参照） 多田会長より27年度の活動について総合的な報告、沼田会計より一般会計、木下専任幹事より小学校関係の会計報告があり、それぞれ承認された。 次いで28年度の運営について、多田会長より組織及び担当役員の発表があり、各行事について、各専任幹事やグループ長から運営方針が発表された。 総会の最後に多田会長より、武庫ネイチャークラブの活動趣旨を再確認する注意喚起があり、クラブのモットー“よく学び、よく遊び、地域に貢献”を実践するために各種行事に積極的に参画する様に依頼があり、午前11：30終了。 午後はオプションとして近郊のまち歩きを実施 12：30、ぷらざこむ前に36名が集合。行程の概略を説明後、中山荘園古墳をめざし出発。この古墳は宅地開発に伴う地質調査の際に見つかったもので、7世紀前半（解説には7世紀第Ⅱ四半期）、古墳時代の最晩年のもので、八角形の形状をしている。この墳丘は当時の天皇陵と同じ構造という珍しい古墳で国の指定史跡となっている。（マンション計画は古墳を残すために縮小して建築） 菰池の周りを歩いて「宝塚瞑想の家」に。ここはキリスト教（カトリック）信者の住まいと修行の場であるが、かって武庫ネイチャークラブはこの庭で観察会を開催した時があった由。今回は園内が工事中という事で、入口に建つ立像を見学のみ。 修道院の宿舎を右に見ながら坂をのぼり売布神社に。この神社は平安時代に作成された延喜式神名帳に記載されていたが、ここは永らく「貴布禰神社」とされていた。18世紀、宝物・古文書からここが「売布神社」と分かり現在に至る。しかし当時の社殿は火災に遭い全て消失（1810 年）、現在の社殿は 1816 年に再建（今年で200年）。 近代の日本画家、橋本関雪の広大な別邸（現在は宝塚市が管理）を見ながら清荒神に向かう。清荒神は蓬莱山清澄寺と同じ境内にある神仏習合の宗教施設。清澄寺は真言宗の寺で荒神さんは火の神、台所の神として信仰を集めている。約30分各自で参拝いただき、現地で解散とした。 帰路、参道の途中にある食堂での反省会?にも20名以上が参加。3月中旬としては暖かい日差しの中を歩いた事もあり、ビールでのどを潤して散会した。
まとめ 感 想	27年度の行事は自主・受託合わせて118回。これは3日に1回の割で行事をこなした事になる。多くの会員諸氏の協力で実施できたことを感謝したい。 午後からのまち歩きにも総会出席者の2／3が参加。約3時間の近郊探訪であったが、歩いていると少々汗がにじむ程度の気候で、さわやかに一日を楽しむことが出来た。

写真添付

２７年度
総会風景

中山荘園古墳

宝塚瞑想の家

売布神社

清荒神山門

反省会は あづまや で

あづまや②

（写真提供：平山元哉、木村俊三）